

関西大学博物館自己点検・評価報告書

2017（平成29）年度～2019（令和1）年度

関西大学博物館自己点検・評価委員会

はじめに

本書は、「関西大学博物館自己点検・評価報告書」の2017年度から2019年度（2017.5～2020.4）の報告である。この自己点検評価期間は、大学法人の評価期間に整合している。この報告書を取り纏められた自己点検・評価委員会の井上主税副委員長、委員諸氏にその労を謝したい。

これまでの自己点検・評価報告では、関西大学博物館の設立にいたる経緯、収蔵資料の特徴を示し、関西大学博物館の理念と目的を明らかにすることを報告の主眼とし、さらに施設の充実と今後の展望と課題の幾つかを明示していただいている。

これらの報告を受けて、今回の第9回報告では、大学全体での博物館のあるべき姿と取り組みについて深く検討いただき、さらに外部評価や統一的な自己点検・評価方法に対応した評価を行って頂けたと考える。

また今回の報告には、2017年度から2019年度の「中期行動計画」によって実施した博物館施設、設備の整備充実（収蔵庫の増設と第3展示室の設置）に向けた調査による提言「施設・設備の整備・充実について（提案）」も収録した。

自己点検・評価報告書の要諦は、情報公開の下で実態の公表が行われ、各構成員・機構の自己点検を可能にすることであり、提示された点検・評価と提言をすべての構成員が再検討し、合意を形成できる場合には、その自己点検・評価に即した改善や改革への方策がとられることになることである。今回の報告書が、その出発点となることを、心から期待するところである。

2021年3月31日
関西大学博物館長
西本昌弘

点検と評価

本学の博物館は、1954（昭和29）年、末永雅雄教授により設置された考古学資料室を前身として、1994年に「博物館法」による博物館相当施設として開館した。学内施設ではあるが、学外に広く公開される博物館として、ユネスコ国際博物館会議（ICOM）に規定される理念と、日本国内法である「博物館法」第2条に規定される目的に準拠して運営している。

博物館は、千里山キャンパス内の簡文館（旧図書館本館：大阪府指定文化財）と、文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」の採択を契機に建設された増築棟に設置されている（総面積1816.28㎡）。付帯施設として、高松塚古墳壁画再現展示室が設置される。考古学や歴史学、美術史を中心とした展示を行っている。

博物館の管理運営は「規程」に従い、博物館運営委員会によって行われている。自己点検・評価委員会も設けられており、3年毎に自己点検・評価報告書を作成している。博物館は、規程に定めるとおり、多様な史資料・図書等の収集、整理、保管、展示および調査研究活動を行い、大学における教育および研究の発展のために寄与することを目的とする。各種の講座や講演会の開催、地域連携やネットワーク活動など、社会の今日的な要請に対応した社会連携・貢献活動を行っている。博物館は、学外から関西大学をみるための大きな「窓」となっている。

前回の自己点検・評価において、博物館独自の調査研究活動が課題として指摘されていたが、いくつかの調査研究成果を社会に発信することができた点は評価できる。なにわ大阪研究センターの2018年度・2019年度関西大学創立130周年記念特別研究費を得て、館長と学芸員を中心に、研究課題「なにわ大阪と本山彦一—大正期大阪への貢献と本山考古室—」を実施した。博物館の本山コレクションを形成した大阪毎日新聞社長本山彦一の事績と貢献について研究活動をおこない、成果報告書を刊行した。

2019（令和元）年6月に明治大学・法政大学との三大学連携協力協定事業の一環として、特別展「ボアソナードとその教え子たち」を開催した。同氏によって学んだ若者たちが創設した大学として、その足跡が辿れるよう関連資料を展示した。

同年7月に「百舌鳥・古市古墳群」が大阪初の世界文化遺産に登録された折には、校友の協力体制のもと大阪と東京の2か所でいち早くシンポジウム「世界文化遺産へのあゆみ—百舌鳥・古市古墳群と関西大学」を開催することが可能となった。

このほか、「学内施設（建物）を活用したミュージアム構想の展開」を掲げて、展示会や講座の開催を通じ、近年社会的関心が高まっている建造物を中心とした近代化遺産が豊富な千里山キャンパスの紹介に務めていることも触れておく。

展望と課題

博物館は、学内で唯一の恒常的に学内外に公開された施設であり、教職員・在学生だけでなく、広く地域、周辺の各級学校、校友、ご父母など、さまざまな対象にアプローチをもつ機関である。博物館の充実は、学外に対して関西大学の教育研究環境の優れていることをアピールする「道具」

となり得る。博物館の年間入館者数は、2017年度12,435人、2018年度12,380人、2019年度9,949人と安定しているが、さらに展示企画やイベントなどを活性化して、学内外から安定した来館者層を呼び起こす必要がある。本学の学術研究成果の発表的な展示企画とともに、広く地域社会や各級学校の児童生徒にアピールできる間口の広い企画もあることが望ましい。

本学博物館では、地域に開かれた社会教育行事としてキッズ・ミュージアムを実施している。小中学生の夏季学習や総合学習に対する義務教育への支援活動の一環であるとともに、大学進学前の児童・生徒に関西大学を知らしめる一大イベントとなっている。博物館学課程担当の教職員が協力して、児童・生徒の夏季学習や総合学習に対する義務教育支援活動の一環として行われるものであり、本学博物館の展示・収蔵資料を有効活用するとともに、大学の教育と調査研究の成果をわかりやすく社会に還元することも目的としている。あわせて将来、博物館学芸員職・研究職に就くことを希望する博物館実習受講生のインターンシップの役割も兼ねている。毎年参加者が増えて、2019年には約2,000名の参加があった。

校友会や教育後援会の行事に連携した公開日は、校友や保護者、在学生在が博物館を見学し、広く大学の多様性と機能を確認し、帰属意識を高める場所として役立っている。

オープンキャンパスの開催時、積極的に地域の関係者や保護者、高校生の博物館見学受入などを行っている。今後、中学校の総合学習や高大連携事業の一環で、考古学・歴史学の学習に意欲を示す高校生への情報発信や大学進学のための導入教育の場として、見学や講義、講座など博物館施設が活用される機会が増え、また教職員がそれに関与する機会も増えていることから、この分野での活動の重要性がますます増大すると見込まれる。

文化庁が募集する地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業として、関西大学博物館が中心館となり、2013年度から関西圏の大学博物館・資料館が集まって「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」を設立し、活動を続けている。2019年9月にICOM(世界博物館会議)が京都で開催された折には、当館が中心となって「かんさい・大学ミュージアム連携」のブースを出展し活動を広める一助となった。また、北大阪にある公立・私立の博物館・美術館、動植物園など53館園で組織された「北大阪ミュージアム・ネットワーク」でも、設立当初から地域文化資源の整備・活用に積極的に取り組んでいる。

博物館では、限られた物的・人的資源を創意工夫・活用し、その設立理念と目的を達成する努力を続けている。関西大学の学外に開かれた窓として、博物館からの発信機能をさらに充実させていくことが必要不可欠である。博物館ミュージアム講座、博物館関係職員や文化財に関心のある方対象の「博物館実践実習研修会」などを、さらに発展させていくことが必須である。

さらに、博物館で充実する必要がある喫緊の活動領域として、博物館独自の調査研究活動があげられていたが、現状においてもかなりの成果を上げているとはいえ、「社会に開かれた大学」の窓口として、学内外に開かれた博物館の役割を充実させていくには、学芸員が調査研究を推進し、その成果を社会にさらに発信していく必要がある。博物館と学内関係者が協力して、研究と普及の活動を行うことも必要となる。2020(令和2)年度より発足する研究班・研究員制度によって、館蔵資料等の調査研究を推し進め、博物館事業活動をより一層充実させることが望まれる。

最後に、博物館には校友や篤志家からの史資料の寄贈の申し入れも多く、それによって博物館活動の多様化と充実がもたらされている。その一方で博物館施設・設備については、総合博物館として本来求められている施設と比較してスペースが不足している。学内の限られた環境下での

整備ではあるが、分野別の収蔵スペースや、展示準備や資料調査、写真撮影などのための学芸準備室の確保が必要である。

博物館施設・設備の整備・充実について（提案）

標記について、博物館では2017年度から中期行動計画に掲げ、本学の教育と研究に寄与し、多様な寄託・寄贈資料の受入れが可能な総合博物館としてのあるべき姿について検討を重ねてまいりました。

かねてより、博物館収蔵庫の増設と学生教育に求められる第3展示室の設置は、博物館自己点検・評価報告書において重ねて言及してきたところです。戦略的・抜本的に増床・増設して解決を図るために、他大学博物館の状況等をヒアリングし、本館の収蔵・作業空間、展示空間等の不足状況を調査・把握して、総合博物館として本来必要な施設・空間と比べどの程度不足しているかについて、具体的な必要面積を算出しました。

ついでには、貴重な保有資料を展示公開するとともに、博物館の根幹的な責務である史資料の保管を全うすることを目的とし、本学の特性に合った学生教育が可能な博物館施設について、下記のとおり提案いたしますので、博物館施設・設備の整備・充実の実現化に向けて、ご検討賜りますようお願いいたします。

記

1. 関西大学博物館の位置づけ

○設置の目的と組織としての位置づけ

- ・平成6年4月、博物館法の「博物館相当施設」として開設。様々な資料・図書等の収集、整理、保管、展示及び調査研究活動を行い、大学における学生教育及び研究の発展のために寄与することを目的として設置しており、各種講座や講演会の開催等、社会の今日的な要請に対応した社会連携・普及活動を実施している。

現在、年史編纂室も博物館の中の事務組織として位置づけられているが、今後創立150周年を見据えると、博物館とは切り離しそれぞれの業務を行っていくべきとの結論に達した。

○史資料数

- ・収蔵資料総数63,491点（2019年3月31日現在）のうち中心は本山コレクション（登録有形文化財）

○収蔵資料の貸出・利用状況

- ・2018年度の貸出件数は10件34点
- ・2018年度の利用件数は6件40点

○展示・出版

- ・2018年度は考古資料を展示する常設展に加え、春・夏・秋にそれぞれ企画展を合計3回実施。この他、博物館実習展、テーマ展を2回、ミニテーマ展を1回開催。
- ・「博物館紀要」を年1回、彙報「阡陵」を年2回刊行。
- ・近年、教育職員と連携し、研究成果を発表・紹介する企画展示を実施。

○各種行事等の開催

- ・企画展に伴う関連講座や主に小中学生を対象とした「キッズミュージアム」、他博物館園と連携した「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」の運営や「北大阪ミュージアムネットワーク」への参加、各学部の授業やオープンキャンパス等での高校生の博物館見学の受入など。

○現在の博物館施設と面積

- ・事務施設 博物館事務室 (85㎡)、博物館長室 (29㎡)、図書室 (43㎡)
 - ・教育・研究施設 博物館実習室 (86㎡)、古文書実習室 (89.25㎡)^{*}
 - ・収蔵施設 特別収蔵庫A (101㎡)、特別収蔵庫B (59㎡)、一般収蔵庫 (59㎡)、収蔵庫前室 (25㎡)
 - ・展示施設 第1展示室 (262㎡)、第2展示室 (350㎡)
- ※古文書実習室は第1学舎4号館2階にあり、それ以外は簡文館内にある。

○博物館施設の利用状況

- ・博物館がある簡文館は大阪府の指定文化財（建造物）に指定されている昭和3年建設の関西大学最古の施設を利用。
- ・現在、国登録有形文化財となっている約2万点の本山コレクションのうち代表的な資料約700点を展示しているが、それだけでも現状のスペースが必要。

2. 博物館施設に関する課題

- ① 新規寄贈資料の保管場所と整理作業スペースの確保
- ② 館蔵品の整理作業スペースの確保
- ③ 企画展の準備作業・展示資料の調査に必要な施設の確保
- ④ 企画展・博物館実習展準備における写場の確保
- ⑤ 第3展示室の設置
- ⑥ 館蔵品の調査や貸出
- ⑦ 研究室の設置
- ⑧ 燻蒸室の設置
- ⑨ 資料の搬入口および荷解場の確保
- ⑩ 博物館事務室のスペース不足
- ⑪ 博物館図書室のスペース不足
- ⑫ 会議室の不足

3. 現況で不足している博物館施設

	不足施設	現在の面積	必要面積	使用目的
事務施設	○応接室	0 m ²	25m ²	館外からの資料調査・貸出対応 博物館事務室 (現在の事務室はスペース不足のため)
	○事務室	85m ²	+ 40m ²	
	○図書室	43m ²	+ 40m ²	博物館図書室 ()
	○会議室	0 m ²	85m ²	委員会等の会議、各種打ち合わせ
教育・研究等 関連施設	○講義・講演室兼実習室	86m ²	+ 64m ²	博物館実習、企画展関連講演会等
	○写場	0 m ²	65m ²	博物館実習写真撮影、企画展展示資料写真撮影
	○研究室 1	0 m ²	60m ²	研究班 1
	○研究室 2	0 m ²	60m ²	研究班 2
	○作業室兼研究室 3	0 m ²	65m ²	企画展示準備・展示資料調査、博物館実習展準備
	○作業室兼研究室 4 ○作業室兼研究室 5	0 m ² 0 m ²	65m ² 65m ²	新規寄贈資整理作業・調査 館藏品整理作業・調査
収蔵施設	○特別収蔵庫 C	0 m ²	60m ²	新規寄贈・寄託資料の保管
	○搬入口と荷解場、収蔵庫・展示室への安全な導線	0 m ²	50m ² + a	資料の搬入出、収蔵庫・展示室への導線
燻蒸施設	○燻蒸室	0 m ²	25m ²	収蔵資料の燻蒸
展示関連施設	○博物館第 3 展示室	0 m ²	150m ²	博物館実習展、作家展

4. 課題に対する提案

上述のように、現在博物館での業務を遂行していく上で約1000m²のスペースが不足している。本館では、重要文化財や重要美術品をはじめとする貴重な資料を収蔵しており、資料を移動する際の安全性の観点から収蔵庫及び展示室をはじめとする諸施設が、同一の建物内にあることが必須である。そのため、業務を遂行する際に最低限度必要で且つ現況では不足している施設については、博物館収蔵庫と展示室がある簡文館と屋根続きの施設であることが重要である。

不足施設については、新規建物を建設することが望まれるが、それが困難であれば、既存施設の地下に必要施設を増築する、あるいは簡文館に隣接し利用可能なスペースが確保できる建物と屋根続きとなるように改築し、そこで必要スペースを確保する等の代替案を検討する必要がある。

以上

関西大学博物館自己点検・評価（資料）目次

- 1 施設の概要
 - (1) 簡文館の概要
 - (2) 博物館部分の床面積
 - (3) 高松塚古墳壁画再現展示室の概要
 - (4) 施設の平面図（後掲）
- 2 組織
 - (1) 博物館運営委員会
 - (2) 博物館自己点検・評価委員会
 - (3) 博物館
- 3 事業
 - (1) 資料等の収集・整理及び保管
 - ア 収蔵資料数
 - イ 指定文化財数
 - ウ 収蔵資料の充実
 - エ 資料の寄託・貸借
 - (2) 資料等の展示及び公開
 - ア 展示資料数
 - イ 開館日数・入館者数
 - (3) 調査研究活動並びにその発表と出版
 - ア 刊行物
 - (4) 講座、講習会、研究会等及び展示会の開催
 - ア 「関西大学ミュージアム講座」の開催
 - イ 「キッズミュージアム」の開催
 - ウ 第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019
ミュージアムフェア出展
 - エ 企画展の開催
 - オ 講演会の開催
 - (5) その他の事業
 - ア 資料の利用状況
 - イ 博物館実習の受け入れ
 - ウ 地域連携事業
- 4 規程
 - (1) 関西大学博物館規程
 - (2) 関西大学博物館規程細則
 - (3) 関西大学博物館自己点検・評価委員会規程
 - (4) 高松塚古墳壁画再現展示室運営内規
 - (5) 関西大学博物館非常勤研究員に関する内規
 - (6) 関西大学学芸アシスタントに関する内規
 - (7) 関西大学博物館準研究員に関する内規
 - (8) 関西大学博物館準研究員に関する内規

1 施設の概要

博物館開設20周年を記念して、201（平成25）年度、展示室改修および大型展示ケースの設置工事を行い、2014（平成26）年度、リニューアルオープンした。第1展示室に幅15mの大型展示ケースを設置して、大型屏風や長尺物の資料の展示を可能として、企画展やテーマ展を開催している。第2展示室では、安定した材質の多い考古資料を常設展示する。

2018年6月18日大阪府北部地震および7月豪雨、9月6日台風第21号により、簡文館建物に軽微な損傷があり、吹田市を經由して大阪府文化財保護課へ被害状況を報告した。

(1) 簡文館の概要

ア 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付4階建

イ 建築面積 2,190.12㎡

ウ 延 面 積 4.058.73㎡

エ 登録有形文化財（建造物）

「登録有形文化財（建造物）」として選定され、2007（平成19）年7月31日付けをもって、登録番号第27-0426号として文化財登録原簿に登録され、8月13日付け官報号外第181号で告示された。

オ 2011（平成23）年度、簡文館建物のうち、昭和3年・30年部分に対し耐震工事を行った。

カ 2018（平成30）年3月23日、大阪府指定文化財（建造物）に指定される。

(2) 博物館部分の床面積

ア 2016年度から、簡文館増築棟3階にある収蔵庫スペースの学内他機関と共有化状態にあったが、中期行動計画で他大学の事業等も含めて調査し、検討の結果、博物館収蔵庫として博物館での一括管理が必要となり、該当機関と調整して、博物館専有の収蔵庫として了解された。なお、他機関が収蔵していた資料は、そのまま博物館で当面の間保管することを了とした。

イ 2017年度に文学部から博物館へ古文書室（第1学舎4号館2階 3室 [古文書室、古文書実習室、書庫]）が移管された。

関西大学博物館施設の概要

名 称	各 床 面 積 (㎡)	合計面積 (㎡)
展 示 室	特別（第1）展示室 262.00 常設（第2）展示室 350.00	612
収 蔵 庫	特別収蔵庫A101.00 特収蔵庫B59.00 一般収蔵庫59.00 前室その他215.35	434.35
実 習 室	86.00	86
図 書 室	43.00	43
館 長 室	29.00	29
事 務 室	事務室85.00、パントリー8.00	93
そ の 他	閲覧コーナー24.00、受付43.00、ホール9.00、WWC（3階） 18.00、バルコニー（2階）7.00、その他417.93	518.93
総 面 積		1816.28

(3) 高松塚古墳壁画再現展示室の概要

ア 構造	鉄骨造ガラス板ぶき平屋建
イ 建築面積	33.64㎡
ウ 延面積	33.64㎡

(4) 施設の平面図（後掲）

2 組織

(1) 博物館運営委員会

博物館運営委員（2017年度～2019年度）

	選出母体（所属）	氏名	任期
博物館長	文学部教授	米田 文孝	2016.10.1～2020.9.30
学部選出委員	法学部教授	佐立 治人	2017.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	文学部教授	山本 卓	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	経済学部教授	春日 秀文	2016.10.1～2018.3.31
	〃 教授	植村 邦彦	2018.4.1～2019.3.31
	〃 教授	松下敬一郎	2019.4.1～2020.3.31
	商学部准教授	片岡 進	2016.4.1～2018.3.31
	〃 准教授	馬場 一	2018.4.1～2020.3.31
	社会学部助教	溝口 佑爾	2017.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	政策創造学部教授	安武 真隆	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	外国語学部教授	石原 敏子	2016.4.1～2018.3.31
	〃 教授	李 春喜	2018.4.1～2020.3.31
	人間健康学部准教授	福田 公教	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2019.3.31
	〃 助教	森田亜矢子	2019.4.1～2020.3.31
	総合情報学部教授	吉田 宣章	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	社会安全学部教授	一井 康二	2017.10.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	システム理工学部教授	大村 泰久	2016.4.1～2018.3.31
	〃 教授	肥川 宏臣	2018.4.1～2020.3.31
	環境都市工学部教授	山本 秀樹	2016.4.1～2018.3.31
	〃 教授	池永 直樹	2018.4.1～2020.3.31

	化学生命工学部教授	池田 勝彦	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
学識経験者	文学部教授	小倉 宗	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	文学部教授	長谷 洋一	2016.10.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	文学部教授	原田 正俊	2017.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
	文学部教授	平井 章一	2018.4.1～2020.3.31
	文学部准教授	井上 主税	2017.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
学術情報事務局長		山崎 秀樹	役職在任中
学術情報事務局長次長		宮下 澄人	役職在任中
博物館事務室事務長		石立弥生子	役職在任中

(2) 博物館自己点検・評価委員会

博物館自己点検・評価委員（2017年度～2019年度）

委員長	文学部教授	米田 文孝	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
副委員長	文学部准教授	小倉 宗	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
委員	文学部准教授	井上 主税	2017.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31
博物館事務室事務長		石立弥生子	役職在任中
博物館事務室 学芸員		山口 卓也	2016.4.1～2018.3.31・ 2018.4.1～2020.3.31

(3) 博物館（○印は学芸員）

2017（平成29）年度は学芸職1名が退職し特任嘱託として再雇用となったことから、博物館事務室に学芸員1名が配置され、それに伴い事務職1名が異動となった。非常勤学芸員は2017年度3名であったが、創立130周年事業が終わったこともあり、2017年10月からは1名減の2名配属となった。ただし、明治大学・法政大学・関西大学の3大学連携事業をサポートするために、新たに年史編纂室に非常勤嘱託（学芸員）が1名配置になった。

また、高度専門職業人養成のために2017（平成29）年度に新設した「学芸アシスタント（Curation Assistant）」制度により、博士課程後期課程に在籍し、学芸員を目指す学生1名が、学芸アシスタントとして配された。2018・2019年度はさらに1名が増やされて合計2名となった。

	2017年度	2018年度	2019年度
館長	○米田 文孝	○米田 文孝	○米田 文孝
参与	○篠塚 義弘	○篠塚 義弘	○篠塚 義弘
次長	宮下 澄人	宮下 澄人	宮下 澄人
事務長	○石立弥生子	○石立弥生子	○石立弥生子
学芸員	○伊藤 伸明	○伊藤 伸明	○伊藤 伸明
	○山下 大輔	○山下 大輔	○山下 大輔
	○熊 博毅	○熊 博毅	○熊 博毅
	○山口 卓也	○山口 卓也	○山口 卓也
事務職員	田中 愛子	田中 愛子	田中 愛子
学芸員（嘱託）	○文珠 省三	○佐藤健太郎	○佐藤健太郎
	○施 燕	○施 燕	○施 燕
	○上原 康生	○西村 航	○西村 航
学芸アシスタント	○渡邊 貴亮	○渡邊 貴亮	○渡邊 貴亮
		○笹田 瑤子	○笹田 瑤子
定時事務職員	8名	6名	8名

3 事業

博物館の中期行動計画として、2016年度に挙げた「学芸アシスタントの制度創設」と「展示企画」の2点に加えて、新たに「博物館施設・設備の整備・充実」と「全学的な史資料の保全と公開」、「キャンパスミュージアム構想の展開」の3件の計画に取り組むことになった。

「博物館施設の整備・充実」は3年計画で、大学の教育と研究に寄与する本博物館の理念と一致したあるべき姿を提案し、改善につなげていくことを意図した。今回の自己点検報告書にその提案「博物館施設・設備の整備・充実について（提案）」を収録することができた。「全学的な史資料の保全と公開」は、主に年史編纂室が中心であるが、学内各機関が所蔵する史資料の調査を行なって、保全と公開を準備している。「キャンパスミュージアム構想」では、130周年事業である「景観回顧モニュメント」等を盛り込んだキャンパスマップを制作し、キャンパス全体をミュージアムと捉えて、「キャンパスミュージアム構想」を展開した。来るべき2022年の大学昇格および千里山移転100周年の布石として取り組んでいる。

2017年度から「学芸アシスタント」制度が発足した。「展示企画」と「講演会」など行事は多様な活動を計画し、「ミュージアム講座」や春季企画展・テーマ展などを順次開催した。

また、2018年度には、館蔵資料についての調査研究体制を一層充実させるため、研究班・研究員制度の創設を目指して具体的な検討に入った。

(1) 資料の収集・整理及び保管

ア 収蔵資料数 (2020.3.31現在)

種別	形態											合計
	実物	標本	模写	模型	図書	図表	写真	映像	音響	その他		
絵画	10		17									27
彫刻	1		2	6								9
工芸品	1663	1		9	215	1			1	3		1,893
書籍・典籍 ・文書	25,297				1649		4				190	27,140
考古資料	21,098			135		1	8				5	21,247
民俗文化財	2,009			36			1					2,046
産業史資料	251			1	175	2			1,971			2,400
自然科学資料		353										353
その他	1,101			1	3		3				1	1,109
図書	辞書等				1,077							
	図録				5,831							
	紀要				5,272							
合計	51,430	354	19	188	14,222	4	16	0	1,972	199		68,404

(注) 1 一括資料を一点として計上したものを含む。

2 未整理資料は除く。

イ 指定文化財数

(ア) 重要文化財 16点 (附6点を含む)

石枕 1点 伝奈良県天理市柳本
 球状耳飾 6点 大阪府藤井寺市国府遺跡 丸玉 1点 同 左
 鉢形縄文土器 1点 同 上 高坏型土器 1点 同 左
 籠型土器 1点 同 上 銅鏃 5点 同 左
 (附) 縄文土器残欠 6点 同 上

(イ) 重要美術品 12件

銅鐸 4点 大阪府四条畷市他 鶏形埴輪 1点 愛媛県大洲市南久米
 石人頭部 1点 福岡県八女市吉田 石ゆき上半部 1点 同 上
 銅製壺鐙 1対 出土地不詳 平形銅剣 1点 愛媛県新居浜市
 鑄銭資料 一括 山口県豊浦郡長府 鹿角製刀装具 2点 福岡県糸島郡雷山古墳

(ウ) 登録有形文化財 (美術工芸品部門の考古資料) 18,945点

2011 (平成23) 年6月27日、文化庁は「本山コレクション」(18,945点) を登録有形文化財 (美術工芸品部門の考古資料) に登録することが官報第114号で告示され、これによって、「本山コレクション」のうち、考古資料のすべてが国の指定文化財、および登録有形文化財となった。

(エ) 大阪府指定文化財

博物館のある建物簡文館は、国の登録有形文化財 (建造物) として2007 (平成19) 年7月

31日、文化財登録原簿登録され、8月13日付け官報号外第181号で告示された。2018（平成30）年3月23日、大阪府指定文化財（建造物）に指定され、国の登録有形文化財（建造物）は登録抹消された。

ウ 収蔵資料の充実

(ア) 寄贈資料の受け入れについて

2017年度

資料名	数量	備考
冬木理紗男（雅号 偉沙夫）氏作 漆芸	4点	卒業生のご父母
三浦内膳宛 井伊兵部少輔書状	1点	校友 文学部非常勤講師
「神点 御名」弘化二年 大宮司藤原朝臣逸寛	1点	校友
附札文書「改名窺」明治三年	1点	
SPレコード「松本コレクション」	一式	個人
SPレコード（炭坑節・常磐炭坑節・炭坑恋歌・僕ら炭坑夫）	4枚	個人
本山彦一氏遺愛 がま口	1点	本山氏遺族
細江逸記先生遺愛 英国風書斎机	1台	吹田市在住個人
煎茶すず製茶壺、すず製茶托5点、竹製茶量3点、朱塗煙草箱と革製煙草入れ、『紀元二千五百三十三年三月新聞雑誌』第八十三号、本居宣長「てにをは紐鏡 再板」	合計13点	校友
短刀（河内國平作刀）	1本	校友

2018年度

資料名	数量	備考
琵琶湖竹生島湖底採集の弥生時代小型壺形土器	1点	吹田市在住個人
SPレコード・LPレコード 音楽関連書籍	462枚 175冊	個人
ガラス ガラス関連書籍	997件 185冊	個人
簡文館大阪府指定文化財指定記念銘板	1枚	個人
米国ビクター社 アウトサイドホーン蓄音機（ビクター4型 タイプM 1909年製） 付属SPレコード20枚	1式	教育後援会有志

2019年度

資料名	数量	備考
書家山本竟山由来の書画や手紙類、篆刻など	615点	個人
遠山旭溪（きょくけい）の書6点、落款印石3点、景德鎮写青磁茶碗（大明成化年製の偽銘）1点	計10点	本学校友
故徳山喜昭氏収集高札、看板、絵馬や鑑札など、木札、米切手、矢立など	821点	本学校友遺族

河内國平（奈良県指定無形文化財保持者）作短刀 上林恒平（山形県指定無形文化財保持者）作短刀 藤安将平作小太刀 高橋次平（長野県指定無形文化財保持者）作短刀 大隅俊平（重要無形文化財保持者）作小刀子 高橋次平（長野県指定無形文化財保持者）作短刀	1本 1本 1本 1本 1本 1本	個人
蓄音機 SPレコード	1点 25点	個人
竹田耕清書「寿」	1点	個人
西谷家文書（古文書2113点、和漢書257点）	2370点	個人

(イ) 購入資料について

No.	資料名	数量	修理内容	年次計画
1	河内國平作末永雅雄先生國平製之太刀の拵一式	1	金工・木工・漆工・革工など刀装具一式（天正年間様）	2017年度
2	重要無形文化財保持者 宮入昭平刀匠作刀（博物館所蔵）拵	1式	金工・木工・漆工・革工など刀装具一式	2018・2019年度

(ウ) 資料の修理

No.	資料名	数量	修理内容	年次計画
1	西小山古墳出土短甲（復元）	1	漆塗り直し、鹿革取替え	2018.3.12完了
2	河内國平作末永雅雄先生國平製之太刀の拵一式	1	金工・木工・漆工・革工など刀装具一式（天正年間様）	2018.3.31完了
3	重要美術品 長門鑄銭司 和同開珎鑄型破片	40	クリーニング・防錆処理・樹脂含浸・塗布による一部強化、蛍光X線分析	2018年度～ 2020年度
4	重要文化財 国府遺跡出土銅鏃	5	樹脂含浸・樹脂塗布による強化・防錆処理・一部復元	2020.3.31完了

(エ) 資料の寄託・貸借

ペルー土器一式	29	使用貸借	2023.2.1まで
近世・近代貨幣等	1,249	使用貸借	2022.6.19まで

(2) 資料等の展示及び公開

ア 展示資料数（常設展示のみ）

第2展示室（縄文・弥生・古墳時代資料） 572点（一括資料は1点として計上）

イ 開館日数・入館者数

月	2017（平成29）		2018（平成30）		2019（令和元）	
	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	会館日数	入館者数
4	26	1,650	26	1,567	25	1,448
5	25	1,569	25	2,153	24	1,583
6	27	1,376	23	863	25	631
7	26	857	24	1,156	27	781
8	18	3,498	5	2,952	4	3,086
9	23	503	20	681	23	205
10	25	483	26	451	24	469
11	25	959	25	808	17	810
12	20	405	21	807	20	398
1	19	339	19	258	21	260
2	16	377	16	263	16	221
3	16	419	16	421	12	57
計	266	12,435	246	12,380	238	9,949

(3) 調査研究活動ならびにその発表と出版

ア 刊行物

2017年度

書名・紙名	号数	発行日
阡陵	第75号	2017.09.30
	第76号	2018.03.31
博物館紀要	第24号	2018.03.31
平成29年度文化庁地域を核とした美術館・歴史博物館支援事業 関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大学ミュージアム を目指して 事業実施報告書「大学の扉を開く」	—	2018.2
2017年度春季企画展「河内国府遺跡発掘100周年 近畿地方先生時代 考古学の始まり」パンフレット	—	2017.4
2017年度夏季企画展「炭鉱の記憶と関西 ― 三池炭鉱閉山20年展 ―」 パンフレット	—	2017.6
2017年度夏季テーマ展「ノーマン D.クック教授、林武文教授のふし ぎなサイエンスアート」パンフレット	—	2017.7

2018年度

書名・紙名	号 数	発行日
阡陵	第77号	2018.09.30
	第78号	2019.03.31
博物館紀要	第25号	2019.03.31
2018年度春季企画展「山本竟山の書と学問 湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク」パンフレット	—	2018.4
2018年度夏季企画展「神戸市立博物館選— 地図皿にみる世界と日本—」パンフレット	—	2018.6

2019年度

書名・紙名	号 数	発行日
阡陵	第79号	2019.09.30
	第80号	2020.03.31
博物館紀要	第26号	2020.03.31
2019年度春季企画展「徳山善昭コレクション展 高札をみる、よむ」パンフレット	—	2019.4
関西大学博物館リーフレット（日本語版）	—	2019.7
高松塚古墳壁画再現展示室パンフレット	—	2019.9

(4) 講演会、講習会、研究会及び展示会の開催

ア 「関西大学ミュージアム講座」の開催

開催日	テ ー マ		講 師	参加者数	会 場
2017.10.7	考古学者は遺跡や古墳を発掘する 発掘調査最前線	第1回 縄文時代の遺跡を発掘する —九州の火山灰の 下に埋まった遺跡—	山下 大輔	238	尚文館1階 マルチメディア AV大教室
2017.10.14		第2回 古墳時代の遺跡を発掘する —記紀にみられる 王宮をさがして—	井上 主税		
2017.10.21		第3回 飛鳥時代の古墳を発掘する —『日本書紀』を掘る—	西光 慎治		

開催日	テ　　マ		講　　師	参加者数	会　　場
2018.4.28	大阪の近現代建築とその楽しみ方	第1回 関西大学の村野建築	橋寺 知子	108	尚文館1階 マルチメディア AV大教室 (第1回・第2回) 梅田キャンパス 8階 KANDAI MeRISEホール (第3回)
2018.5.12		第2回 大阪府内の近代建築と文化財	神谷 悠実	93	
2018.5.19		第3回 近現代建築の楽しみ方 —イケフェス—	高岡 伸一	111	
2019.10.12	刀のいろいろ	第1回 刀剣展示の最前線と 刀剣学の現在	内藤 直子	台風のため中止	増築棟1階 セミナー室
2019.10.19		第2回 現代刀匠として 日本刀を鍛える	高見 國一	30	
2019.10.26		第3回 藤ノ木古墳出土の原 「玉纏太刀」をめぐる 諸問題	深谷 淳	27	

イ 「キッズミュージアム（旧称「なんでも相談会」）」の開催

後援：吹田市・吹田市教育委員会

年度	開催日	開催時間	行 事 名	参加者数
2017	07.26・08.02～08.03	10：00～16：00	キッズミュージアム	2,330名
2018	07.25・08.02～08.03	10：00～16：00	キッズミュージアム	2,144名
2019	07.30・08.06～08.07	10：00～16：00	キッズミュージアム	2,100名

ウ 第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019ミュージアムフェア出展

共催：かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

年度	開催日	開催時間	行 事 名	参加者数
2019	09.02～09.04	9：00～18：00	第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019	4,100名

エ 企画展の開催

年度	タイトル	会期	日数	入館者数
2017	春季企画展「河内国府遺跡100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」	04.01～05.21	42	3,107
	春季テーマ展「関西大学と村野藤吾」			
	夏季企画展「炭鉱の記憶と関西—三池炭鉱閉山20年展—」	06.06～06.30	23	1,251
	夏季テーマ展「ノーマン D.クック教授、林武文教授のふしぎなサイエンスアート」展	07.17～09.30	53	4,304
	冬季テーマ展「関西大学と村野藤吾」／建築学科卒業設計展	01.15～02.15	19	409
	冬季ミニテーマ展「本山コレクションから見る日本列島の石器とその石材」／「『津田秀夫文庫』調査速報展～近世摂河の村々の支配と暮らし～」	01.15～02.15	19	409
	建築学科卒業設計展	02.19～02.21	3	229
2018	春季企画展「山本竟山の書と学問—湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク—」	04.01～05.20	41	3,517
	夏季企画展「神戸市立博物館選 地図皿にみる世界と日本」	07.02～08.05	29	4,107
	秋季企画展「絵本の小道を歩いてみると—石原敏子の本棚から—」	09.03～09.29	20	681
	特別展示「能勢槻峯寺とその建立修行縁起」	11.11～11.16	6	456
	冬季企画展「関西大学とアーティストのミュオグラフィアート展 先端科学をアートで表現」	12.03～01.12	26	860
	冬季テーマ展「関西大学と村野藤吾 設計図・建築写真・絵画」	01.28～02.28	22	315
	冬季ミニテーマ展「瓦経展」			
2019	春季企画展「徳山喜昭コレクション展 高札をみる、よむ」	04.01～05.19	38	2,832
	特別展「ボアソナードとその教え子たち」	06.01～07.20	43	1,275
	ICOM 京都大会開催協賛展「関西大学博物館の名品」	09.02～09.20	14	144
	特別展示「看板—商いの武器なり—」	11.10～11.15	6	508
	冬季テーマ展「関西大学と村野藤吾 建築写真・設計図」	01.14～01.30	15	224
	冬季ミニテーマ展「絵馬—祈りの表象—」／「装飾博 レンガに見る中国の祈りと美」／本山彦一と九州 故郷での交流と蒐集資料	01.14～01.30	15	224
	建築学科卒業設計展2019	02.19～02.20	2	89

オ 講演会の開催

2017年度

開催日	内容	参加者数	会場
2017.04.15	春季テーマ展関連催事講演会 「村野藤吾の思想と方法 — 関西大学校舎群を中心に —」 講師 笠原 一人	113	第1学舎 B101
2017.05.10 } 2017.12.13	SPレコードコンサート（期間中12回実施）	—	博物館 特別展示室 常設展示室
2017.05.13	春季企画展関連催事講演会 「河内国府遺跡発掘100周年 — 近畿地方先史時代考古学のはじまり —」 講師 山口 卓也	83	尚文館1階 マルチメディア AV大教室
2017.06.11	関西大学博物館／経済・政治研究所／エル・ライブ ラリー共催 シンポジウム「炭鉱の記憶と関西をつなぐもの — 多様な記憶を時空に刻む —」 コーディネーター 青木 恵理子 登壇者：三池炭鉱の社宅で育った人々 （東川 絹子、上田 茂、前川 俊行） 炭都と文化の展示を担当（鶴飼 雅則） コメンテーター：西牟田 真希	60	児島惟謙館
2017.09.23	博物館実習実践研修会 第1回 日本刀研修 講師 河内 國平・河内 晋平	20	増築棟1階 セミナー室
2017.09.26	博物館実習実践研修会 第2回 拓本研修 講師 山内 紀嗣	20	古文書実習室
2017.10.05	博物館実習実践研修会 第3回 煎茶研修 講師 佃 一輝・佃 梓央	30	増築棟1階 セミナー室
2017.10.07 2017.10.14 2017.10.21	関西大学ミュージアム講座 「発掘調査最前線 考古学者は遺跡や古墳を発掘する」 第1回 縄文時代の遺跡を発掘する — 九州の火山灰の下に埋まった遺跡 — 講師 山下 大輔 第2回 古墳時代の遺跡を発掘する — 記紀にみられる王宮をさがして — 講師 井上 主税 第3回 飛鳥時代の古墳を発掘する — 『日本書紀』を掘る — 講師 西光 慎治	238	尚文館1階 マルチメディア AV大教室

2017.10.20	上方伝統文化体験講座「音を紡いで風景を聴く」 人形浄瑠璃文楽座 豊竹希太夫・竹澤 團吾 長唄 杵屋 多佳・杵屋多佳容 杵屋多佳映・杵屋喜代嘉 ギター 渥美 幸裕 囃子 藤舎 呂鳳・藤舎 勘秀・ 小山 雅充 笛 藤舎 華生	108	博物館 常設展示室
2017.10.26	イケフェス（生きた建築ミュージアムフェスティバル）大阪 関大キャンパスツアー 「関西大学千里山キャンパスの建築をめぐる」	41	千里山 キャンパス
2017.10.27 2017.11.15 2017.11.25	関西大学博物館／かんさい・大学ミュージアム連携 実行委員会 連携企画「大学建築を探る～ヴォーリズと村野藤吾～」 バスツアー「ヴォーリズの学校建築と近江八幡」 バスツアー「阪神間の大学キャンパスと村野建築」 シンポジウム「大学建築を探る ～ヴォーリズと村野藤吾～」 講師 田淵 結、山形 政昭、 松隈 洋、橋寺 知子	39 40 150	KUシンフォ ニーホール他
2017.11.15	ギャラリートーク「SPレコードコンサート」	18	博物館 常設展示室
2018.01.25	ギャラリートーク「石器の見方」	3	博物館 特別展示室

2018年度

開催日	内容	参加者数	会場
2018.05.16 } 2018.12.13	SPレコードコンサート（期間中15回実施）	—	博物館 特別展示室 常設展示室
2018.04.28	関西大学ミュージアム講座 「大阪の近現代建築とその楽しみ方」 第1回 関西大学の村野建築 講師 橋寺 知子	108	尚文館1階 マルチメディア AV大教室 （第1回・第 2回）
2018.05.12	第2回 大阪府内の近代建築と文化財 講師 神谷 悠実	93	梅田キャンパス 8階
2018.05.19	第3回 近現代建築の楽しみ方—イケフェス— 講師 高岡 伸一	111	K A N D A I MeRISEホール （第3回）
2018.06.14	博物館実習実践研修会 第1回 表装研修 講師 藤枝 宏治	29	増築棟1階 セミナー室

2018.06.23	博物館実習実践研修会 第2回 日本刀研修 講師 河内 國平・河内 晋平	22	古文書実習室
2018.07.14	夏季企画展関連講演会 「江戸時代のワンダーランド」 講師 小野田一幸 「地図皿を彩る地図と意匠」 講師 中山 創太	75	尚文館1階 マルチメディア AV大教室
2018.07.24	夏季企画展ギャラリートーク 「地図皿にみる世界と日本」	6	博物館 特別展示室
2018.09.24	秋季企画展関連講演会 「絵本の変装／変奏 — 変わること／変わらないもの — 講師 石原 敏子	89	増築棟1階 セミナー室
2018.10.25	イケフェス（生きた建築ミュージアムフェスティバル）大阪 関大キャンパスツアー 「関西大学一高・一中の建築をめぐる」	38	千里山キャン パス
2018.12.08	冬季テーマ展関連講演会 「関西大学とミュオグラフィアート」 講師 林 武文、井浦 崇、角谷 賢二	26	博物館 特別展示室
2019.02.13	ギャラリートーク「瓦経展」	9	博物館 特別展示室
2019.03.09	関西大学創立130周年記念特別研究費（なにわ大阪研究）研究成果中間報告会 「なにわ大阪と本山彦一 — 大正期大阪への貢献と本山考古室 —」 報告者 山口 卓也	18	増築棟1階 セミナー室

2019年度

開催日	内容	参加者数	会場
2019.04.07	夏季企画展展示解説 「徳山喜昭コレクション展 高札をみる、よむ」	20	博物館 特別展示室
2019.05.11	春季企画展関連講演会 「高札から読み解く近世社会」 講師 上原 康生 講師 佐藤健太郎	31	増築棟1階 セミナー室
2019.05.19 ） 2019.12.12	SPレコードコンサート（期間中17回実施）	—	博物館 常設展示室
2019.06.22	博物館実習実践研修会 第1回 日本刀研修 講師 河内 國平・河内 晋平	30	増築棟1階 セミナー室
2019.06.29	第2回 土器圧痕研修 講師 小畑 弘己	25	

2019.07.10	連携講座 「蓄音機で聴くSPレコードコンサート 音のある暮らし」 講演 「生活の中に溶け込んだ音楽」 講師 佐藤健太郎 「蓄音機の歴史—音楽再生の始まり—」 講師 柳 知明	110	KUシンフォニーホール
2019.07.15	シンポジウム 「世界文化遺産へのあゆみ 百舌鳥・古市古墳群と関西大学」 I部 講演 「仁徳天皇陵の保全とその調査」 講師 徳田 誠志 「百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産へのあゆみ」 講師 十河 良和 「百舌鳥古墳群における巨大古墳の調査成果—ニサンザイ古墳と御廟山古墳—」 講師 海邊 博史	600	100周年記念開館 (大阪会場) 東京コンベンションホール 大ホール (東京会場)
2019.07.28	II部 シンポジウム 司会 井上 主税 パネリスト 徳田 誠志、十河 良和、 海邊 博史、山田 幸弘、 田中 晋作、米田 文孝	650	
2019.10.04	連携講座 「蓄音機で聴くSPレコードコンサート 音楽とのつながり」 講演 「音楽とのつながり」 講師 柳 知明 講師 佐藤健太郎	60	関西大学東京センター
2019.10.12	関西大学ミュージアム講座 「大阪の近現代建築とその楽しみ方」 第1回 刀剣展示の最前線と刀剣学の現在 講師 内藤 直子	台風のため中止 30	増築棟1階 セミナー室
2019.10.19	第2回 現代刀匠として日本刀を鍛える 講師 高見 國一		
2019.10.26	第3回 藤ノ木古墳出土の原「玉纏太刀」をめぐる諸問題 講師 深谷 淳		
2019.10.19	バスツアー「大学建築を探る～大学建築と時間軸～」	31	大阪芸術大学 大阪松陰女子大学

2019.10.25	<p>上方伝統文化体験講座</p> <p>「小袖と邦楽 日本の伝統音楽で聴く着物景色」</p> <p>唄 杵屋喜代嘉・杵屋喜音嘉・ 杵屋喜次園</p> <p>三味線 杵屋 多佳・杵屋勘武乃・ 井上 利恵</p> <p>歌舞伎義太夫三味線 野澤 松也</p> <p>囃子 藤舎 呂鳳・藤舎 呂鳳・ 小山 雅充</p> <p>笛 藤舎 推峰</p>	71	博物館 常設展示室
2019.12.07	<p>一般社団法人DOCOMOMO Japan 2018年度</p> <p>「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」</p> <p>「関西大学千里山キャンパスにおける村野藤吾建 物群選定記念シンポジウム」</p> <p>ダンスパフォーマンス</p> <p>「Mの質感」</p> <p>作・出演 登森 加帆・村上 萌実・ 徳田 萌里</p> <p>「丘陵を臨みて」 作・出演 眺野 花 指導・演出 原田 純子 照明 柳原 常夫</p> <p>基調講演</p> <p>「近代建築と世界遺産」 講師 山名 善之 報告</p> <p>「関西大学の村野建築紹介」 講師 橋寺 知子</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>パネリスト 山名 善之、大宮司勝弘、 原田 純子</p> <p>進行 橋寺 知子</p> <p>千里山キャンパスツアー</p>	187	KUシンフォ ニーホール

2019.12.22	北大阪ミュージアム・ネットワーク共催シンポジウム 大阪でEXPOを考えるⅡ 「博覧会の歩み—'70万博への道—」 基調講演 「万博史の中の70年大阪万博」 講師 佐野真由子 報告 「映像でふりかえるお祭り広場の催し物・第2幕」 講師 正木 喜勝 「1937年のパリ万博 —「近代生活における芸術と技術」の 「進歩」と「調和」—」 講師 磯谷 有亮 「1970年大阪万博前史 —1958年ブリュッセル万博を中心に」 講師 五月女賢司 「大坂万博の鉄鋼館」 講師 岡上 敏彦 パネルディスカッション コーディネーター 中牧 弘允 パネリスト 佐野真由子、正木 喜勝、 磯谷 有亮、五月女賢司、 岡上 敏彦、長井 誠、 橋爪 節也	108	梅田キャンパス 8階 KANDAI MeRISE ホール
------------	--	-----	--

(5) その他の事業

ア 資料の利用状況

(ア) 資料貸出状況

2017年度

貸出日	貸出先機関名	貸出物品名	点数	種類	使用目的・展示会名
2017. 01.31) 04.14	愛媛県立歴史 文化博物館	鶏形埴輪頭部、鶏形埴輪破 片(4点)、人物埴輪	6	資料 写真	展示 掲載 平成28年度特別展「はに坊 と行く! えひめの古墳探 訪」
2017. 03.27) 07.07	大阪歴史博物 館	「太王陵」銘長方埴、「千秋 萬歳」銘長方埴、軟質把手 付鉢	3	資料 写真	展示 掲載 特別展「渡来人いずこよ り」
2017. 04.29	(株)山川出版社	土器(片口形土器)、土偶	2	写 真	掲 載 『土偶のリアル』
2017. 04.01	(株)ベネッセコ ーポレーション	縄文鉢形土器(北白川下層 式)	1	写 真	掲 載 2017年度進研ゼミ小学講座 『チャレンジ6年生』4月 号

2017. 05.09 ～ 12.25	あべのハルカ ス 美術 館 (06.06～07.17)、 島根県立石見 美術 館(08.05 ～09.18)、 千葉市美術 館 (11.03～12.17)、 産経新聞社	複製《平治物語六波羅行幸 の巻》、《大江山》	2	資料 写真	展 示 掲 載	企画展「没後70年 北野恒 富展」
2017. 05.19	NHK 大 阪 放 送 局	高松塚古墳壁画再現展示室	1	映 像	放 送	歴史秘話ヒストリア「飛鳥 美人 謎のコードを解け」 (2017年 5月19日放送)
2017. 06.12 ～ 10.01	北海道埋蔵文 化財センター	本山コレクション「国府遺 跡 縄文前期墓壙出土状 況・出土遺物」	1	写 真	展 示	企画展「北の縄文—縄文探 訪と縄文工房—」
2017. 06.07	奈良県立万葉 文化館	石枕	1	写 真	展 示 掲 載	平成29年度展覧会「こい・ 孤悲・恋 —アニメ「言の 葉の庭」～漫画・日本画」
2017. 08.28 ～ 12.01	下関市立考古 博物館	五鈴杏葉、三鈴杏葉、馬鈴、 三環鈴、五鈴鏡、六鈴釧、 筒形銅器、袈裟襷文銅鐸 (扁平鈕式新段階)、袈裟襷 文銅鐸(突線鈕3式)、異 形はそう、鑿(車鑿)	18	資料 写真	展 示 掲 載	平成29年特別展「遙かなる 音の世界」
2017. 09.19	鹿児島大学総 合研究博物館 教授	円照寺墓山1号墳出土蔵骨 器、鹿角製刀剣装具	2	写 真	掲 載	科研費・基盤研究B「武装 具の集積現象と古墳時代中 期社会の特質」研究報告書
2017. 09.30 ～ 12.03	徳島県立博物 館	荻生徂徠墓碑銘拓本、中井 竹山墓碑拓本、坂本剛毅 (鉉之助) 碑拓本、塩野家 文書「上知一件御用控日記 帳」	3	資料 写真	展 示 掲 載	企画展「江戸幕府と徳島藩 —幕藩制改革からみる江戸 時代—」
2017. 11.01	Osprey Publishing Ltd	末永雅雄先生復元冑(横矧 板鋌留衝角付冑)、末永雅 雄先生復元甲冑(庇付冑・ 挂甲)	2	写 真	掲 載	Trevor Absolon, <i>Samurai Armour;</i> <i>Volume I</i> <i>The Japanese cuiress</i>
2017. 11.07	TBS テレビ	関西大学博物館展示室写真	2	写 真	放 送	マツコの知らない世界 「“大学博物館”の世界」 (2017年11月7日放送)
2017. 12.10	(株)クリエイテ ィブネクサス	弥生蛸壺形土器	2	写 真	放 送	所さんの目がテン!「歴史 研究会～弥生時代の生活 ～」(2017年12月10日放送)

2018. 01.01	有限会社 ビ ッグイシュー 日本	福田貝塚土偶	1	写真 掲載	『BIG ISSUE 日本版』 1月 1日号「土偶の宇宙、日本 人の起源」
2018. 01.29 ～ 03.30	徳島県立鳥居 龍蔵記念博物 館、徳島県立 博物館	大串第4号人骨塊状耳飾、 大串第4号人骨頭骨石膏複 製、大串第13号人骨塊状耳 飾と丸玉（レプリカ）、大 串第18号人骨塊状耳飾（レ プリカ）、縄文鉢形土器、 高坏形土器（レプリカ）、 笊形土器（レプリカ）、縄 文埋葬人骨頭部被蓋縄文土 器片、壺形土器口縁部破 片、人骨頭部（レプリカ）、 世界人種画像、弥生時代石 鏃（一式）、縄文時代石鏃 （一式）、縄文土器片（一 式）、獣骨貝類（一式）、弥 生土器（一式）、木村兼葭 堂収蔵鏃形石、柏木貨一郎 「石器写図」、石棒、津雲貝 塚出土甕棺、石鏃貫入猪頭 骨、茨城県福田貝塚出土土 偶、短冊、肖像、軸、手あ ぶり火鉢	34	資料 写真 展示 掲載	企画展「鳥居龍蔵、日本人 のルーツに迫る—本山彦一 との交流—」
2018. 01.29 ～ 05.06	国立歴史民俗 博物館	奈良県佐紀陵山古墳蓋形埴 輪（レプリカ）	1	写真 掲載	総合第1展示室（原始・古 代）大テーマV「倭の前方 後円墳と東アジア」パネル
2018. 03.13 ～ 06.30	奈良県立美術 館	太刀 銘（表）贈恩師末永 雅雄先生國平製之	1	資料 写真 展示 掲載	特別展「奈良の刀 —匠の 美と伝統一」
合計利用件数 18 件			合計利用資料数 83 点		

2018年度

貸出日	貸出先機関名	貸出物品名	点数	種 類	使用目的・展示会名
2018. 04.01	(株)ベネッセコ ーポレーション	縄文鉢形土器（北白川下層 式）	1	写真 掲載	2018年度進研ゼミ小学講座 『チャレンジ6年生』 4月 号
2018. 04.17	朝日出版社	福田貝塚出土土偶	1	写真 掲載	『縄文折り紙（仮題）』

2018.07.09	ぴけプロダクション	福田貝塚出土土偶	1	写真	放送	「土偶ミステリー 日本最古のフィギュア その謎に迫る」
2018.08.19	朝日新聞出版	石枕	1	写真	掲載	『天皇陵古墳を歩く』
2018.08.30 ～ 11.06	新居浜市立美術館	平形銅剣	1	資料写真	展示掲載	「日暮別邸移築記念特別企画展 至宝の中国古銅器～別子銅山ゆかりの住友コレクション～」
2018.08.31	(有)スタジオパラム	石枕	1	写真	掲載	メイツ出版『古墳のひみつ 見かた・楽しみかたがわかる本 (仮題)』
2018.09.18 ～ 12.31	高槻市教育委員会	興福寺旧東金堂本尊仏頭 (複製品)	1	資料	展示	高槻市立今城塚古墳歴史館・しろあと歴史館合同秋季特別展「藤原鎌足と阿武山古墳」
2018.09.29	八戸市博物館	獅嚙柄頭	1	写真	展示	特別展「丹後平古墳群と蝦夷の世界」
2019.02.26	西尾市教育委員会	西尾貝塚出土品	25	図面	掲載	『新編西尾市史 資料編1 考古』
2019.03.20	(株)NHKエデュケーショナル	高松塚古墳壁画再現展示室の西女子群像部分	1	映像	放送	NHK 高校講座 日本史 第4回「飛鳥の朝廷と律令国家の形成」
合計利用件数 10 件			合計利用資料数 34 点			

2019年度

貸出日	貸出先機関名	貸出物品名	点数	種類	使用目的・展示会名
2019.04.01	(株)ベネッセコーポレーション	縄文鉢形土器 (北白川下層式)	1	写真	掲載 2019年度進研ゼミ小学講座『チャレンジ6年生』4月号
2018.07.24	(株)日企	末永雅雄先生復元甲冑 (挂甲)	1	写真	放送 At home presents「明日への扉」
2019.09.24 ～ 12.27	尼崎市立田能資料館	福田貝塚他出土土偶	10	資料写真	展示掲載 第49回尼崎市立田能資料館特別展「どごうちゃん」
2019.08.05	(株)おもちゃあ	博物館外観・展示資料・高松塚古墳壁画再現展示室	1	映像	放送 日本ケーブルテレビ連盟近畿支部20局ネットワーク番組「三関王」

2019.10.03	国立研究開発法人化学技術振興機構 日本化学未来館	高松塚古墳壁画復元図	1	写真 展示	常設展「計算機と自然、計算機の自然」
2019.10.12 ～ 10.27	三原市教育委員会	紺糸織桶側鋏留腰取五枚胴具足	1	写真 展示	「三原浅野氏入場400年展」
2019.10.21	笠岡市教育委員会	津雲貝塚出土資料	55	写真 図面	掲載 「津雲貝塚総合調査報告書」
2019.11.23 ～ 12.26	各務原市歴史民俗資料館	末永雅雄先生復元甲冑（挂甲）	1	写真 展示	企画展「古墳時代の各務原」
2019.12.21 ～ 2020.01.26	愛媛県歴史博物館	明教館惣絵図（遠山家資料）	1	写真 展示	テーマ展「松山藩の歴代藩主」
2020.01.10	(株)日企	蛸壺形土器	1	写真 放送	日本テレビ「ザ!鉄腕!DASH!!!」
2020.01.15 ～ 03.19	國學院大學博物館	鍬形石、馬形埴輪、瓜形石器、磨製乳棒形石器、贗作勾玉類5点、子持勾玉、独鈷石、両頭石斧、石棒頭部破片、青龍刀石器、石棒3点、香炉形土器、琴柱形石製品、武人埴輪頭部2点	21	資料 写真	展示 掲載 企画展「Antiquarians-古物を守り伝えた好古家たち—」
合計利用件数		11件	合計利用資料数		94点

(イ) 2017・2018・2019年度資料利用状況

2017年度

利用日	利用者	利用物品名	利用内容	利用目的
2017.07.10	京都大学大学院文学研究科教授	朝鮮出土文字瓦	実見 写真撮影	論文執筆に伴う資料調査
2017.07.28	関西大学国際文化財・文化研究センター リサーチ・アシスタント	古代エジプト関連資料	実見 写真撮影	資料調査
2017.09.19	鹿児島大学総合研究博物館教授	円照寺墓山1号墳出土蔵骨器、鹿角製刀剣装具	実見 写真撮影 実測	科研費・基盤研究B「武装具の集積現象と古墳時代中期社会の特質」に伴う資料調査
2017.12.11	京都大学博物館	学術標本（コプト、アンデスチャンカイの織物）	実見 写真撮影	データベース構築に伴う資料調査
2018.01.17	個人	園田家文書	実見	小説執筆に伴う資料調査

2018年度

利用日	利用者	利用物品名	利用内容	利用目的
2018.05.10	早稲田大学大学院生	伝渋谷出土石枕、千葉県香取出土石枕、合子形石製品、鍋塚古墳出土石製模造品7点、伝神田出土石製模造品9点	実見 3Dスキャナーでの計測	資料調査
2018.06.19	國學院大學博物館客員教授	国府遺跡出土球状耳飾6点	実見 写真撮影 実測	資料調査
2018.06.23	熊本大学埋蔵文化財調査センター准教授	国府遺跡出土球状耳飾6点	実見 写真撮影 実測	論文執筆に伴う資料調査
2018.11.15	奈良大学文学部教授	金銅装圭頭大刀装具	実見 写真撮影 実測	資料調査
2018.11.27	京都大学大学院生	銅鐸4点、平形銅剣	実見 写真撮影 実測	修士論文執筆に伴う資料調査

2019. 01.26	国立歴史民俗博物館教授 他5名	馬形埴輪、箏柱形石製品、劍柄 形石製品、滑石製斧	実見 写真撮影 計測	国立歴史民俗 博物館共同研 究「『聆濤閣 集古帖』の総 合資料学的研 究」
2019. 03.13	京都大学大学院生	金銅製圭頭大刀3点	実見 写真撮影 計測	修士論文執筆 に伴う資料調 査

2019年度

利用日	利用者	利用物品名	利用内容	利用目的
2019. 06.06	愛媛県歴史文化博物館学 芸課長・専門学芸員	松山城下絵図・江戸上屋敷絵図 (遠山家資料)	実見 写真撮影	特別展開催に 伴う資料調査
2019. 11.20	同志社大学学生	長田古墳出土円筒埴輪	実見 写真撮影 実測	卒業論文執筆 に伴う資料調 査
2019. 11.20	青森県郷土館主任学芸主 査	片口形土器・土偶（本山コレク ション）	実見 写真撮影 計測	特別展開催に 伴う資料調査

イ 博物館実習の受け入れ

(ア) 博物館実習履修生の受入数

年 度	学 部	4年次	3年次	計	大学院	科目等 履修生	学芸員 コース	合 計 (名)
2017	文	4	32	36	5	8	0	51
	その他	0	2	2				
	合計	4	34	38				
2018	文	6	33	39	2	8	0	49
	その他	0	0	0				
	合計	6	33	39				
2019	文	4	27	31	0	1	0	34
	その他	0	2	2				
	合計	4	29	33				

(イ) 博物館実習展の開催

年 度	期 間	テ ー マ	入館者数
2017	11.12～11.17	「イノシシと共に生きる人々」「なにわの観光」「今日に生きる安倍晴明」「浮世絵 ―大阪の名所展―」	536
2018	11.11～11.16	「HAKO ―20世紀以降における文房具としてのハコ―」「食いだおれ」「畏れの姿」「茨木の潜伏キリシタン」	456
2019	11.10～11.15	「稲垣足穂展」「たけがたり」「吹田くわいの今と昔」	508

ウ 地域連携事業

(ア) 北大阪ミュージアム・ネットワーク事業

事業者名：北大阪ミュージアム・ネットワーク

代表者 吹田市立博物館 館長 中牧 弘允

北大阪（淀川以北）にある博物館53館園が緩やかに連携して構成

事業1 ミュージアムメッセを11月中旬に開催。

場所：国立民族学博物館 ホール等

(イ) かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会事業

事業者名：かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

代表者 関西大学博物館 館長

滋賀県・大阪府・和歌山県・奈良県・兵庫県にある大学ミュージアムが連携して構成。

構成団体：追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム、大阪青山歴史文学博物館、

大阪医科大学歴史資料館、大阪大谷大学博物館、大阪音楽大学音楽博物館、

大阪芸術大学博物館、大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館、

大阪商業大学商業史博物館、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、

大阪大学総合学術博物館、関西大学博物館、関西学院大学博物館、

滋賀大学経済学部附属史料館、常翔歴史館、奈良大学博物館、

武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室、

和歌山大学紀州経済史文化史研究所

